

# ガザ死者3万人超す

## 栄養失調子ども6人死亡

イスラエル軍とパレスチナ自治区ガザ地区を実効支配するイスラム組織ハマスの戦いで、ガザの保健省は29日、死者が3万人を超えたと発表した。ガザ全域で食料危機や感染症の流行に歯止めがかからず、国際機関などは一刻も早い停戦を求めている。



2月12日、パレスチナ自治区ガザ地区で、イスラエルによる空爆で殺された親族を悼むパレスチナ人＝AFP

保健省は29日、戦闘開始からの死者は3万35人、負傷者は7万457人になったと発表した。

中東の衛星放送局アルジャジーラは29日、北部ガザ市のシファ病院の話として、イスラエル軍のこの日の攻撃で約50人が死亡したと報じた。食料を求め並んでいた人が犠牲になったとの情報もある。イスラエルの地元メディア「タイムズ・オブ・イスラエル」は、イスラエル軍がこの攻撃について「調査中」と答えたと伝えた。

自治政府系のパレスチナ通信によると、ガザ中部又セイラト、ブレイジの難民キャンプで夜の空爆で少なくとも26人が死亡したとい

う。

またアルジャジーラは28日、保健省の話として、ガザ市のシファ病院で、子ども2人が脱水症と栄養失調で死亡したと伝えた。また北部にあるカマル・アドワン病院でも、子ども4人が同じ症状によって死亡したという。子どもを中心に感

## ハマスの溝はまだ大きい

ガザでの人道危機が深刻化するなか、イスラエルとハマスの溝は、米国、エジプト、カタールの仲介で、停戦に向けた交渉が続いている。ハマスの幹部のナウム氏は交渉について28日、アルジャジーラの取材に「溝はまだ大きい」と答えた。

バイデン米大統領は3月4日までに停戦にこぎつけられることへの期待を示しているが、ナウム氏は「現実的に即していない」と話した。

また、自治政府主流派フアタハやハマスの代表者らは29日、戦後のガザ統治を見据えてモスクワで会談する。ロシア国営ノーボスチ通信が28日、駐ロシアのパレスチナ大使の話として伝えた。パレスチナの新たな

感染症の流行が深刻化しているとの情報もある。

世界保健機関のテドロス事務局長は29日、3万人を超えた死者の多くが女性や子どもであると言及。「この恐ろしい暴力と苦しみを終わらせなければならぬ」とX(旧ツイッター)に投稿した。

「実務型政府」の樹立や、復興について話し合われる見込みだ。

(笠原真、高久潤リエルサルム、海間新太)